

# 歴史的分野において既習事項を関連付けながら、 自分の考えを深めることができる生徒の育成

— 単元を貫く学習課題に関連した多面的な課題設定と、「思考集約シート」の活用を通して —

特別研修員 社会 久保野雅之（中学校教諭）

## 【生徒の実態】

一単位時間ごとの学習につながりを感じることができないから、単元のまとめは苦手なあ。

## 【教師の願い】

一単位時間ごとの学習内容を関連付けながら、多面的に歴史的事象を捉えて、自分の考えを深めてもらいたいなあ。

## 「思考集約シート」の活用方法

### 手順1

単元を貫く学習課題に関連した課題を設定し、そのまとめを記入する。（まとめⅠ）  
※図中の①～⑦は学習の順序を示す。

### 手順2

まとめⅠに対して、単元を貫く学習課題の答えに迫る問いを行い、その答えを記入する。（まとめⅡ）  
その結果どのような国（世の中）になったのか？

### 手順3

まとめⅡを踏まえて、単元を貫く学習課題の答えに関連するキーワードを記入する。（まとめⅢ）  
明治政府が目指した国とは？

段階的に思考を集約していくことで、課題解決の核心部に迫ることができる。

学習前に立てた最初の予想を記入。

学習課題：なぜ新政府は不平等条約の改正を行うことができたのか  
予想：外国と仲良くなったから

2年A組 番( )  
生徒の疑問点を基につかんだ単元を貫く学習課題を記入。

#### ① 制度改革1

五箇条の御誓文を制定したり、版籍奉還や廃藩置県を行ったりした。

#### ② 制度改革2

学制によって学力を高め、徴兵令によって兵力を高め、地租改正によって税金を上げた。

#### ③ 民衆の動き1

今までにない欧米諸国の技術や文化、考え方が取り入れられた。

課題解決に向けて生徒がまとめた学習する視点を記入。

ルールができて国として成り立った。

欧米に近くなり技術が発展していった。

天皇中心で外国に負けない国

#### ⑦ 制度改革3

内閣制度を作ったり、憲法を作成したりした。

政治がしっかりできて国民が少し自由になった。

国土がはっきりし、外国との交流も増えた。

#### ④ 外交政策1

国力の充実を最優先にしつつも、中国とは対等な関係を築き、朝鮮とは優位な関係を築いた。

#### ⑥ 民衆の動き2

自由民権運動が高まり、国会開設を要求した。

#### ⑤ 外交政策2

蝦夷地と琉球藩を日本に編入し、領地を明確にした。

生徒の思考集約シート一例

学習課題のまとめ

技術、兵力を進歩させ、国が安定して、外国に負けない国になったから。

### 手順4

まとめⅢを踏まえて、単元を貫く学習課題の答えを記入する。

実践では全9時間計画。

- ・第1時で「学習課題」と「予想」を記入。
- ・第2時～第8時で手順1を記入。
- ・第9時で手順2、手順3、手順4を記入。

手立て① 単元を貫く学習課題に関連した多面的な課題設定とまとめ方の工夫

手立て② 一単位時間のまとめを基にした「思考集約シート」の活用

**成果**  
・学習につながりを感じながら取り組むことができた。  
・一単位時間のまとめを関連付けて単元のまとめを行うことができた。  
・生徒は考えが深まったことを実感することができた。

**課題**  
・段階的に思考を集約していくために、単元全体を貫くキーワードを明確に設定してから単元構想を行う必要がある。